

大 消 協 防 第 5 号

令和 4年 5月 30日

大 阪 市 長 様

一般財団法人 大阪消防振興協会

理 事 長 藤 井 茂 樹

令和3年度大阪市立阿倍野防災センター事業報告書について

標題について、別添のとおり報告します。

## 令和3年度 大阪市立阿倍野防災センター事業報告書

### 施設概要

施設名	大阪市立阿倍野防災センター
所在地	大阪市阿倍野区阿倍野筋3丁目13番23号
団体名	一般財団法人大阪消防振興協会、株式会社ノムラメディアス大阪支店、ジェイ・アクシス株式会社 共同事業体
代表者指定管理者	一般財団法人大阪消防振興協会
代表者	一般財団法人大阪消防振興協会 理事長 藤井 茂樹
主たる事務所の所在地	大阪市西区江戸堀1丁目24番18号

### 1 指定管理業務の実施状況

#### (1) 管理運営方針

阿倍野防災センター事業は、市民や企業の防災担当者等に災害時に必要な知識と技術を提供し、災害による被害の軽減につなげることが目的であり、共同事業体のそれぞれの専門性とノウハウのすべてを結集し、消防局が運営方針に掲げる市民が安心して暮らせる「災害のない安全なまち」「災害に強いまち」の実現に向け、ともに取り組むことを方針としています。

#### (2) 職員の配置状況

##### ア 一般財団法人大阪消防振興協会

体験学習・研修訓練・企画広報・施設管理を効率的に運営できる職員を下記のとおり配置しています。

(ア) 防災センター長（協会職員）	1 名
(イ) 防災センター長代理（協会職員）	1 名
(ウ) 管理担当（協会職員）	1 名
(エ) 防災学習担当（協会職員）	1 名
(オ) 防災研修担当（協会職員）	1 名

##### イ 株式会社ノムラメディアス大阪支店

展示設備の定期保守点検や故障等の不具合発生時に、設備機器専門スタッフのうち必要人員を派遣し対応しています。

##### ウ ジェイ・アクシス株式会社

アテンド・スタッフを常時7名の配置で対応しています。

(3) 施設管理状況

ア 建物管理

建物施設及び防災センター周辺の維持管理については、年度協定書に基づき適正に管理しました。

イ 体験施設管理

年度協定書に基づく定期点検及び日常点検を実施しましたが、重大な不具合等はありませんでした。

ウ 関係機関との連携

(ア) 事務担当者会議等において、複合施設あべのフォルサ全体の施設管理として連携強化に努めました。

(イ) 施設管理等の連携及び防火・防災対策として実施した自衛消防訓練〔令和3年11月29日(月)及び令和4年2月28日(月)〕において、防災活動の専門家として指導、アドバイスをを行いました。

(ウ) あべのフォルサ合同で連携し毎月1回庁舎周辺の清掃活動を行い、環境改善による職場づくり、まちづくりに努めました。

(エ) 防災関係機関(海上保安庁・自衛隊・気象庁等)とのネットワークを構築し連携強化に努めました。

## 2 新型コロナウイルス感染予防対策

### (1) 防災体験学習エリア

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、感染状況及び政府、大阪府・大阪市の方針により学習エリアの展示場及びコース内容、所要時間、人数等に制限を設けて実施しました。令和3年12月からは、体験コース内容を部分的に戻していき、令和4年1月から来場予約者の制限は継続したままで、従来の内容による体験コースを再開しました。さらに、令和4年2月以降は人数制限も緩和しました。

具体的な感染予防対策は次のとおりです。

ア 来館者の入館に関しては、チェックリストの記入、顔認証衛生システムでの検温及び手指消毒を実施しました。

イ 自動手指消毒機を各エリアに設置しました。

ウ 施設内の各機器は定期的に消毒を実施しました。

エ 「応急救護コーナー」で使用するネクタイ、タオル等を定期的に洗濯、消毒し、清潔保持に努めました。

オ 職員及びアテンダントは、検温を始業前・中間・終業時に実施し健康管理に努め、来館者対応時は、1メートル以上の距離を取り、確実なマスク着装を心がけ、さらに、フェイスシールドを使用しました。

カ 「ソーシャルディスタンス」の掲示物を館内の壁や床に貼り、来館者同士が密にならないように努めました。

### (2) 防災研修訓練エリア

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、感染状況及び政府、大阪府・大阪市の方針により検温、手指消毒、換気等の感染対策を徹底し防災研修室等の貸し出しを実施しました。

3-1 防災体験学習エリア利用状況

- (1) 開館日数                    248 日 (内臨時開館 0日間)
- (2) 休館日数                   117 日
- (3) 来館者数                  17,019 人

月別来館者数

月	来館者数(人)	開館日数(日)
4	641	21
5	0	0
6	149	7
7	1,675	26
8	1,561	26
9	981	24
10	2,553	26
11	3,193	25
12	2,287	23
1	1,433	22
2	1,071	23
3	1,475	25
計	17,019	248

一日の稼働時間    8時間

延べ稼働時間    1,984時間

一日平均利用者    69人

一時間平均利用者    9人

\*新型コロナウイルス感染症対策で、コース内容、所要時間、人数等の一部制限を実施していましたが、令和4年12月から徐々に緩和したことで前年度より来場者数が増加しました。

3-2 防災研修訓練エリア利用状況

- (1) 開場日数 304 日
- (2) 来場者数 24,950 人

月別来場者数

月	来場者数(人)	開場日数(日)
4	1,744	23
5	1,676	24
6	2,131	30
7	1,852	27
8	1,416	21
9	2,222	28
10	2,143	30
11	4,105	23
12	1,866	25
1	2,039	21
2	1,974	28
3	1,782	24
計	24,950	304

甲種防火管理新規講習	8,061人
防火・防災新規講習	6,377人
甲種防火管理再講習	0人
教育担当者講習	129人
自衛消防業務新規講習	3,793人
自衛消防業務再講習	1,480人
普通救命講習	342人
消防局事業	894人
イベント等	3,696人
使用許可に係る研修会等	0人
防災設備室等利用	178人

\*新型コロナウイルス感染症対策で、受講人数の制限を実施していましたが令和3年度から緩和したことで、前年度より来場者数が増加しました。

令和3年度阿倍野防災センター研修室使用予定表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水						1			1			
木				1		2			2			
金				2		3	1 KHK		3			
土				3		4	2		4	1 休館日		
日				4		5	3		5	2 休館日		
月		1		5		6	4		6	3 休館日		
火		2		6		7	5		7	4 休館日	1	1
水		3		7		8	6		8	5	2	2
木		4		8		9	7 防災講習2		9	6	3	3
金		5		9		10	8 防災講習3		10	7	4	4
土		6		10		11	9		11	8	5	5
日		7		11		12	10		12	9	6	6
月		8		12		13	11		13	10 スプレー缶	7	7
火		9		13		14	12		14	11	8	8
水		10		14		15	13		15	12	9	9
木		11		15		16	14		16	13	10	10
金		12		16		17	15		17	14	11	11
土		13		17		18	16		18	15	12	12
日		14		18		19	17		19	16	13	13
月		15		19		20	18		20	17	14 救急課	14
火		16		20		21	19		21	18	15	15
水		17		21		22	20		22	19	16	16
木		18		22		23	21		23	20	17	17
金		19		23		24	22		24	21	18	18
土		20		24		25	23		25	22	19	19
日		21		25		26	24		26	23	20	20
月		22		26		27	25		27	24	21	21
火		23		27		28	26		28	25	22	22
水		24		28		29	27		29	26	23	23
木		25		29		30	28		30	27	24	24
金		26		30			29			28	25	25
土		27		31			30			29	26	26
日		28					31			30	27	27
月		29								31	28	28
火		30									29	29
水		31									30	30
木												31

教育担当者講習(1回)

ジュニアレスキュー

キッズ&ユース

救急課イベント

防対点検再講習(5回)

防対点検本講習(2回)

防対点検再講習(3回)

KHK屋外タング講習(1回)

救急課(2回)

#### 4 成果指標の達成状況

大阪市立阿倍野防災センター管理業務基本協定書第3条に基づく成果指標の達成状況については次のとおりでした。

成果指標	達成度
防災体験学習エリア及び研修訓練エリア体験者のうち、「助かる力、助ける力が身に付くような知識技術を習得することができた」と答えた体験者の割合を全体験者の80%以上に保つこと。	98%  *アンケート回答者数5,294人のうち『思う、やや思う』と答えた人数5,196人

新型コロナウイルス感染症対策のため、コース内容、所要時間、人数等に一部制限を設けていましたが、令和3年12月からCコース（60分）の再開、令和4年1月からは、AコースからEコースの全コースを再開したことにより来館者が増加し、アンケートは前年度の3倍以上の回答を得ました。



## 5 実施事業・自主事業

### (1) 主なイベントの開催

#### ア 「パパ・ママ応急手当教室」

育児中のお父さん、お母さん等を対象に心肺蘇生AEDの使い方、異物誤飲、止血など応急手当の普及に努めました。

令和3年6月26日、9月26日、11月28日、令和4年1月21日、3月19日 5回実施 計19人参加

#### イ 「防火・防災かたりべの会」

元消防職員が、様々な災害活動を通じて得た体験を来館者に語りつなぎ防火・防災について考えてもらう機会を設けました。

令和3年6月27日、12月13日 2回実施 計20人参加

#### ウ 「防災クイズチャレンジ」

防災クイズに広く参加してもらい、来館者に防災の知識を深めてもらいました。

令和3年7月24日～7月25日 2日間実施 計56人参加

#### エ 「シルバーエイジ・ファイヤーイベント」

高齢化社会に入り、独居高齢者世帯が増える中で火災や自然災害等から身を守るための普及啓発を実施しました。

令和3年9月18日～令和3年9月20日 3日間実施 計 207人参加

#### オ 「スプレー缶の怖さを知ろう」

スプレー缶の爆発を実験的に再現することにより危険性を再認識してもらい、火災等の事故発生の防止に努めました。

令和3年11月28日の11:00～、13:00～ 2回実施 計53人参加

#### カ 「ローリングストック推進の防災講話&防災クッキング」

備蓄に関する知識を養い、自宅でできるローリングストックの考え方を理解して頂いた。

令和4年1月30日の11:20～、14:20～ 2回実施 計40人参加

「震災と津波 クイズチャレンジ春」 「キッズ&ユース・ファイヤーイベント」

「ガソリンの怖さを体験しよう」

「あべのタスカル・サマーイベント2021」

については、新型コロナ感染状況等により今年度の開催を中止しました。

### (2) 防災特別展等の開催

#### ア 「防災週間特別展」

9月1日の「防災の日」を中心とした防災週間に合わせて、地震、台風等の自然災害に備えて、防災意識の向上を図りました。

令和3年8月30日～令和3年9月5日 7日間実施 計184人参加

イ 「津波防災の日・世界津波の日」 特別展

11月5日の「津波防災の日・世界津波の日」にあたり、今後発生することが危惧される南海トラフ巨大地震等に備えて、防災意識の向上を図りました。

令和3年11月1日～令和3年11月7日 7日間実施 計697人参加

ウ 「防火・防災図画展」

大阪市消防局に優秀・佳作に選ばれた作品を展示し、子供たちの防火防災意識の向上を図りました。

令和3年11月11日～令和3年11月23日 12日間（休館日除く）実施 計421人参加

エ 「防災とボランティア週間」

市民の自主防災意識の向上及び防災ボランティア活動の普及を啓発しました。

令和4年1月15日～令和4年1月21日 7日間 計 494人参加

(3) ホームページでのVR体験

あべのタスカルの3Dビューをホームページ上に公開、自宅や職場等からでもあべのタスカルをVR（バーチャルリアリティー）で体感できるようにしました。（令和4年3月末で公開終了。）

(4) 報道機関等からの取材対応

各報道機関への取材協力	1件
情報誌への協力	3件

## 6 収支決算状況

(単位：円)

収入合計 (A)		85,356,433
項目	業務委託収入	84,902,455
	自主事業1収入 (防災用品販売手数料)	102,858
	自主事業2収入 (自動販売機手数料)	351,120
支出合計 (B)		82,588,288
項目	人件費	52,362,259
	物件費	30,226,029
	水道光熱費	7,061,690
	賃借料	926
	通信費	736,260
	消耗品費	1,210,787
	広告宣伝費	0
	外注費	11,040,863
	設備・備品費	2,103,384
その他	8,072,119	

※令和2年度 利益配分額 1,550,545円の支出は除く

## 7 その他

### (1) サービスの向上

- ア 74言語に対応できる携帯通訳機を導入しています。
- イ 映像シアターの多言語化（英語・中国語・韓国語）を図りました。
- ウ ご意見箱を設置し、市民の意見・要望等を受け、サービスの向上に努めました。
- エ 指導員全員が、防災士等の資格を取得し市民からの質問等に対応しました。

### (2) 管理経費の節減

来館者の状況により、照明器具や空調機のこまめな電源オフに努め、消費電力の節約に努めました。

### (3) 施設内安全管理及び衛生管理の向上

- ア 不審者侵入時のマニュアルを活用し定期的に訓練を行いました。
- イ あべのタスカル内での急病人等の発生を想定し、血圧計等の資器材及び対応マニュアルを活用し定期的に訓練を行いました。
- ウ 抗菌・抗ウイルスコーティング済みの機器を適切に管理しました。
- エ 空気清浄機3台を運用し施設内の換気等に努めました。

### (4) 利用者からの苦情・意見等

特記事項なし

### (5) 研修実績

#### ア 人権研修・接遇研修

外部講師による研修を受講しました。なお、アテンダントなど未受講者へは防災センター長が教養を実施しました。

#### イ 教養研修

国内での災害発生時には、防災情報の共有化を図りました。

手話教室を定期的に開催し、聴覚障がい者へのスムーズな対応が図れるように努めました。

#### ウ コンプライアンス研修

防災センター長が必要に応じて実施しました。

(6) モニタリングの実施状況

ア コース体験後のアンケートの実施

(ア) コース体験者の満足度等の把握に努めました。

(イ) 質問事項に対する回答を館内のお知らせ板に掲示しました。

(7) 個人情報保護への取組状況等

ア (一財)大阪消防振興協会個人情報保護規程の遵守

イ (一財)大阪消防振興協会個人情報保護規程取扱要綱に基づく事務処理の徹底

ウ 申込書等の個人情報については、事務室の施錠保管庫に適切に保管

エ その他

- ・ (一財) 大阪消防振興協会コンプライアンス規程及び要綱の制定(平成25年10月1日)
- ・ (一財) 大阪消防振興協会内部通報に関する要綱の制定(平成25年10月1日)
- ・ (一財) 大阪消防振興協会インターネット及び電子メール適正使用に関する要綱等の制定(平成25年10月1日)

(8) その他の事項

ア 体験記録カードの発行

来館者の利用促進策として体験記録カードを発行し、来館時にもらえるスタンプが5個たまれば記念品を贈呈しました。(令和3年度 1名)

イ「タスカルぶんこ」と称して、防災に関する参考本や絵本などを置き、広く来館者に読んで頂けました。

上記のとおり報告します。

指定管理者	所在地	大阪市西区江戸堀1丁目24番18号
	商号または名称	一般財団法人大阪消防振興協会
	代表者氏名	理事長 藤井 茂樹
	所在地	大阪市浪速区難波中2丁目10番70号
	商号または名称	株式会社ノムラメディアス大阪支店
	代表者氏名	支店長 秋月 忍
	所在地	愛知県あま市七宝町川部出屋敷69番地
	商号または名称	ジェイ・アクシス株式会社
	代表者氏名	代表取締役 赤羽 徹